

ぴあフィルムフェスティバル in 京都2024 タイムテーブル

Time Table

※開場は上映時間の15分前です。※上映作品及びゲストは予告なく変更になる場合があります。
 上映開始時間は日々異なります。ご確認ください。G…ゲスト来場予定/敬称略。

11.9 土	12:00~ 高校生8ミリフィルムに出会う [HIGH-SCHOOL-TERROR] [UNK][カラオケ喫茶ボサ] [Lighthouse]ほか G 小田 香,手塚 真	14:45~ 21世紀の高校生 [流れる][アスターズスクールデイズ] [莓のジャムとマーガリン][帰路] G 小田 香,宮永咲弥花,高橋伊吹	18:00~ PFFアワード2024 [END of DINOSAURS] [サンライズ] [チューリップちゃん]
10 日	11:00~ PFFアワード2024 [ちあきの変拍子] [I AM NOT INVISIBLE] [わたしのゆくえ]	13:30~ PFFアワード2024 [正しい家族の付き合い方] [これらが全て Fantasyだったあの頃。]	16:15~ PFFアワード2024 [よそのくに] [季節のない愛]
11 月	休館日		
12 火		15:30~ 映画のことだけ考えていた 高校の夏休み [Single8]	18:00~ 鈴木歌さんを偲んで [嵐電] G 鈴木卓爾
13 水		14:30~ 鈴木歌さんを偲んで [蛇の道][蜘蛛の囃] G 北小路隆志	18:45~ 90年代傑作自主映画 [灼熱のドッジボール] [走るぜ] G 古坂智之
14 木		16:00~ 生誕100年 増村保造新発見! [親不孝通り]	18:15~ 音楽のある人生 [TWO TRAINS RUNNIN'] G ビーター・バラカン
15 金		16:00~ 中村靖日さんを偲んで [運命じゃない人]	18:15~ 中村靖日さんを偲んで [寮内厳肅][月島狂奏] [正門前行]
16 土	11:30~ 台湾の風が京都に吹く [逃亡者狂騒曲] デジタルリマスター版	14:00~ 第28回PFFスカラシップ作品 [道行き] G 中尾広道	16:30~ PFFアワード2024 [アイスリンク] [さよならピーチ]
17 日	11:00~ PFFアワード2024 [鎖] [さようならイカロス]	14:15~ PFFアワード2024 [松坂さん] [秋の風吹く]	17:00~ PFFアワード2024 [Into a Landscape] [分離の予感] [あなたの代わりにあなた展]

会場アクセス▶地下鉄「烏丸御池駅」から徒歩3分/阪急「烏丸駅」から徒歩7分/京阪「三条駅」から徒歩15分/市バス「堺町御池」から徒歩2分

Ticket Guide

10月12日(土)10時より、
チケットぴあにて発売!
[Pコード:554-458]
●上映開始時間まで販売します。

【チケット料金表】 (税込金額)

※日時指定制/ 整理番号付き自由席	一般 (シニア含む)	博物館友の会 / 障がい者	学生
PFFアワード2024 高校生企画	1,000円	500円	500円
[招待作品部門] (上記を除く)	1,300円	800円	

※障がい者・博物館友の会・学生の方は、
入場時に証明できるものをご提示ください。

【チケット購入方法】
 (チケットぴあ) 購入はこちら▶
 ①インターネットで購入
 ②セブン-イレブンのマルチコピー機
で直接購入
 ※会場ではチケットの発券が出来ません。
必ず、セブン-イレブンかファミリーマートで
発券の上、ご来場ください。

〈当日会場販売〉
 ③当日会場(3F受付)で購入
 販売時間:各回上映開始の30分前から販売
 ※チケットぴあ完売時は、販売なし。

★18歳以下の方は、
全プログラム、無料ご招待!
(事前申込制/各回先着15組30名)

【お問い合わせ】 一般社団法人PFF
 03-5774-5296(平日11時~18時)

【会場】 京都文化博物館
 京都市中京区三条高倉 3階フィルムシアター

主催 一般社団法人PFF 京都文化博物館

オフィシャルパートナー ホリプロ dentsu group Hakuodo DY media partners

メディアパートナー 京都新聞

オフィシャルTOPサポーター 三菱地所 U-NEXT

オフィシャルサポーター 住友不動産 セブン&アイHLDS.

特別協賛 iPASS 一卡通 朝日新聞 イx7 Imaging Works IJ Internet Initiative Japan Tokyofm FMBO2 KLOCK WORK

JCB SEGA Sammy TACHIHI チノビテレビ 東京テアトル TOKYO MX

TFC 東北新社 DOKUSO NIKKATSU SMBC 三井住友カード MUFG 三菱UFJニコス

協賛 R-factor くらぼし銀行 CONCENT 佐藤工業 SPACE SHOWER TBS DISK GARAGE tv asahi

テレ東 KOGEI TOHAN TOHO アーカイブ TOPPAN JAPAN AIRLINES 0TEL FASCINATE CO.,LTD

POOL inc. フジテレビジョン MOALA PONYCANYON INC. MOVIE WALKER PRESS 夜景検定 recici

賛助 アテネ・フランセ文化事業(株)/ (株)アンカット/ (株)伊藤園/ (株)運動会屋/ エイベックス・ピクチャーズ(株)/ KANDO(株)/ ヲガガ(株)/ 京都芸術大学 舞台芸術研究センター/ キングレコード(株)/ クエストルーム(株)/ (有)スタンス・カンパニー/ チケットぴあ九州(株)/ チケットぴあ名古屋(株)/ (株)夏への扉/ (株)PIVOT/ (有)フォルム/ (有)プレス/ (有)ウォルテージ/ (株)マジックアワー/ (株)みずほ銀行/ (株)MOON LIGHT/ (株)ロボット

ぴあフィルムフェスティバル 2024 in 京都



京都限定企画が満載! / 18歳以下は無料ご招待



2024 11.9(土)→11.17(日)

※月曜休館
 THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館
 3階フィルムシアター

主催:一般社団法人PFF 共催:京都文化博物館 運営協力:Brand new day

Invited Works

[招待作品部門]

京都限定6企画を含む、つくる人と観る人のための23作品を紹介します。



自主映画をより多くの方々に届けてきた「ぴあフィルムフェスティバル(PFF)」は、日本映画はじまりの地・京都でしかできない「高校生企画」を、今年の特別企画として展開します。ワークショップから生まれたふたつのプログラム「高校生8ミリフィルムに出会う」「21世紀の高校生」、そして、8ミリフィルムでの映画づくりの楽しさが溢れる「Single8」の特別上映。コンペティション部門の「PFFアワード2024」作品もあわせ、10代の映画を是非体験してください。

映画が星の数ほどある現在、配信やソフトの見つからない「ここだけで出会える映画」をお届けするのも「映画祭」の使命です。スクリーンでの一期一会にご期待ください。

京都限定

高校生8ミリフィルムに出会う

小田 香 (監督・アーティスト)、手塚 真 (ヴァジュアルリスト) 11. 9 日 12:00~

かつて「自主映画」といえば8ミリフィルム。20世紀は8ミリが映画の夢への第一歩を刻むパートナーでした。そして、デジタル時代のいま、なんと京都に高校生を対象とした8ミリ体験ワークショップが生まれたとのニュースが! 本プログラムでは、このワークショップのご紹介と、小田香監督が近年試みた8ミリ作品の上映、そして、大阪での「Visualism 手塚真アート映画展」公開にあわせて手塚監督が高校時代につくった有名な8ミリ作品を上映することで、「8ミリ自主映画」の魅力に迫ります。

協力: IMAGICA ENTERTAINMENT MEDIA
コダックジャパン



『HIGH-SCHOOL-TERROR』
1981年PFF入選/カラー/6分 監督:手塚真

放課後の教室に残る女子高生2人、やがて夜になると…。手塚監督が高校卒業直前に撮った本作は、すこぶる怖い8ミリ作品として全国で自主上映された。



『UNK』
1979年PFF入選/カラー/15分 監督:手塚真

空飛ぶ円盤にさらわれた少女は宇宙都市へ。出演以外のすべてを、高校2年生の手塚監督がひとりで担当、8ミリ映画の可能性に挑んだ意欲作。



『カラオケ喫茶ボサ』
2022年/カラー/13分 監督:小田香

年配のカラオケ好きが集う、大阪郊外の「ボサ」。コロナウイルスの感染拡大、ロシアのウクライナ侵襲が始まった2022年、未来を切望する人々の記憶。



『Lighthouse』
2024年/カラー/13分 監督:小田香

8ミリ短編映画集『クロベニゲンジョウシロレモン』の1編。河から海に出ていく水路から撮影された、幻想的な大阪の灯り。ピアノのリズムが印象的。

京都限定

21世紀の高校生

小田 香 (監督)、宮永咲弥花 (監督)、高橋伊吹 (監督) 11. 9 日 14:45~

「映画をつくってみたいけど、何をどうすればいいかわからない」。そんな想いを抱く高校生のために今夏実施された創作ワークショップ。講師を務めた小田香監督に北嵯峨高校3年・足立百々花さんとの実践の様子をお聞きしながら、近年のPFFアワードに高校生で入選した作品を上映、監督たちにも制作の日々を語ってもらいます。

創作ワークショップの様子



『流れる』 PFFアワード2014入選/カラー/13分 監督:橋本将英

公園で暮らす少年は、ある時、傍らに置かれた小石の存在に気付く。以来、少年は小石とともに時を過ごす。少年と石の心の交流を、映像の力で見事に表現!



『苺のジャムとマーガリン』
PFFアワード2021入選/カラー/10分 監督:宮永咲弥花

好きな人の味は、苺のジャムとマーガリン。日々喜びや苦悩を感じる多感な時期に、高校生たちはいかに自らを表現するのか? 10代の豊かな感受性が溢れ出す!



『アスタースクールデイズ』
PFFアワード2020観客賞/カラー/38分 監督:稲田百音

地味な転校生と遠足係になった4人。花と花言葉を贈ってくる彼に困惑するも、次第に彼の言葉に後押しされていく…。心温まる、青春と友情の学園群像劇。



『帰路』 PFFアワード2021入選/白黒/19分 監督:高橋伊吹

10時42分、少年は高校を抜け出す。家に帰りたくない気がしても、やっぱり最後は帰るしかない。何も起こらない日常の中の切実さを、親密な映像で表現。

京都限定

映画のことだけ考えていた高校の夏休み

11.12 日 15:30~

1978年『スター・ウォーズ』公開に沸く夏にSF映画制作を決意した高校生たち。8ミリ映画の制作プロセスをつぶさに紹介しながら、胸躍る青春映画を生み出したのは、自身も高校時代に映画に没頭した小中和哉監督。スピルバーグプロデュース作品のタイトルにもなった「Super8」はアメリカで主流のコダック社製8ミリフィルムで、日本では富士フィルムの「Single8」が圧倒的だったゆえの、この映画タイトルです。



特別上映 『Single8』
2022年 カラー/113分
監督:小中和哉 出演:上村侑、高石あかり、福澤希空(WATWING)、桑山隆太(WATWING)

「宇宙船(の模型)をリアルに撮る」だけで終わるはずが、長編映画制作の夏に…映画づくりのノウハウを惜しみなく披露する必見作!

©Single8製作委員会

18歳以下限定! 映画祭の全プログラムに、ペアで無料ご招待!

(事前申込制/各回先着15組30名)



映画編集者・鈴木歓さんを偲んで



「脚本を読まない」という伝説の映画編集者・鈴木歓さんは、長く京都芸術大学で教鞭を執っておられました。京都で生まれた1作品、黒沢清監督と協働した2作品を上映し、鈴木卓爾監督と北小路隆志さんのトークでその自由な仕事ぶり、後進へのあたたかな眼差しを偲びます。

京都限定

『嵐電』

鈴木卓爾 (監督) 11.12 日 18:00~



2019年/カラー/114分

監督:鈴木卓爾

出演:井浦新、大西礼芳、安部聡子、金井浩人

嵐電がつかなく、3組のゆるやかな愛と生と死と。京都芸大映画学科の学生と、プロの映画人がともに生み出す「北白川派」の映画作品。

©Migrant Birds/Omuro/Kyoto University of Art and Design

《黒沢清監督2作品上映》

11.13 日 14:30~

北小路隆志 (映画批評家、京都芸術大学教授)



『蛇の道』 1998年/カラー/85分 監督:黒沢清

出演:哀川翔、香川照之、下元史朗、柳憂怜
娘を殺された男は謎の協力者を得て、拷問も辞さずに犯人を追い詰めていくが…。2024年、舞台をフランスに移したセルフリメイクを発表。



『蜘蛛の瞳』 1998年/カラー/83分 監督:黒沢清

出演:哀川翔、ダンカン、大杉漣
『蛇の道』の異色姉妹編。復讐を果たし、生きる目的を失った男は殺し屋となる。だが、組織の抗争に巻き込まれ、ある決断を迫られることに。

©KADOKAWA 1998/©KADOKAWA 1998

俳優・中村靖日さんを偲んで



「カメラの向こう側ではなく、こちら側にいる」と多くの監督に愛された大阪出身の俳優・中村靖日さんは、武蔵野美術大学で『キングダム』シリーズで知られる佐藤信介さんに出会い、撮影や録音として映画制作に参加します。その秘蔵3作品と、主演作で在りし日を偲びます。

『運命じゃない人』

11.15 日 16:00~



2004年/カラー/98分

監督:内田けんじ

出演:中村靖日、霧島れいか、山中聡

典型的な“いい人”のサラリーマンは、探偵の友人に呼び出されたレストランで、女性と恋に落ちる。恋の騒動と大金絡みの大事件。

《佐藤信介監督3作品上映》

11.15 日 18:15~



『寮内厳粛』 1994年/白黒/18分 監督:佐藤信介

PFFアワード1994グランプリ 撮影:中村靖日

出演:石黒紀之、川野宏毅、宮本牧子

予備校の寮で、成績を上げる薬の噂が広がる。浪人生たちの長くて短い、いつもの1日。



『月島狂奏』 1994年/カラー/36分 監督:佐藤信介

録音:中村靖日

出演:千葉祐子、服部良次、中村靖日

父が入院。だけど、気になるのは父の土地!? ちくはぐな家族の小波乱を軽快に描く。



『正門前行』 1997年/カラー/66分 監督:佐藤信介

出演:内野勝就、伊藤聖子、中村靖日

脚本づくりに悩む学生がネタにしようとして首を突っ込んだ盗難騒ぎ、その意外な真相。

ピーター・バラカン 音楽のある人生

ピーター・バラカンさんを迎えた音楽映画シリーズ。本年は日本未公開の傑作が発見されました。1964年アメリカ南部で起こった3つの歴史的事件、その複雑な背景と驚きの連続をインタビューとアニメーションと記録映像で華麗に描きます。

日本最終上映

『TWO TRAINS RUNNIN'』

11.14 日 18:15~

講師:ピーター・バラカン (プロドキャスター)



2016年/アメリカ/カラー/80分 監督:サム・ポラード

公民権運動の真っ只中、アメリカ東海岸と西海岸から大学生たちがミシシッピ州を目指して旅立った。消えたブルース・シンガー、サンハウスとスキップ・ジェイムズを探して。

©Aviation Films 2017

生誕100年 増村保造新発見!

~決断する女たち~

東京の特集に是非入れたかった増村の早すぎる傑作の上映が、京都で実現! 『くちづけ』『巨人と玩具』に続く野添ひとみ&川口浩の共演作は、愛と妊娠とをテーマに、驚くべきスピードと先の読めない展開で客席をまたもや呆然とさせるのでした。

京都限定

『親不孝通り』

11.14 日 16:00~



1958年/白黒/80分 監督:増村保造/原作:川口松太郎

出演:川口浩、桂木洋子、野添ひとみ、船越英二

最愛の姉の為に復讐を計画する大学生と、その標的となる女学生。スピーディーで強烈なドラマに日本映画へのイメージが変わる傑作。

©KADOKAWA 1958

35mmはフィルム上映、その他はデジタル上映です。

台湾の風が京都に吹く

「時代を先取りする」とは本作のためにある言葉。「台湾ニューシネマ」とまったく違うアプローチで台湾社会と若い世代を捉えたのは、現在、CM界の巨匠と呼ばれるワン・チャイシアン監督。そのカメラワークに眼が眩みます!

協力:台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター/Cinema Drifters/大福

京都限定

『逃亡者狂騒曲』デジタルリマスター版

関西プレミア上映

原題:給逃亡者の恰恰 英題:A Cha-Cha for the Fugitive

11.16 日 11:30~



1997年/台湾/カラー/83分 監督:ワン・チャイシアン(王財祥)

出演:チェン・ホンレン(陳 宥任)

ルー・シンユエ(鹿 心雨)

チェン・ジェイ(陳 介一)

ホー・ジョンシアン(何 宗憲)

◆1997ベルリン国際映画祭フォーラム部門

◆1997アジア太平洋映画祭

最優秀撮影賞、編集賞、音響効果賞

NYでの成功を夢見る台北のダンサーは殺人を目撃したことで犯人から追われる身に。走るカメラ、燃える炎、ナイトクラブの若者たち、美しい廃墟…。あまりの先鋭さに公開当時は数日で打ち切られたが、2023年に再公開されると映画ファンは大熱狂! 時を超越する“伝説の映画”を目撃せよ。

©FOUNTAIN FILMS CO. All Rights Reserved.

PFF Award 2024

PFFアワード2024

1977年から続く、自主映画コンペティション。
今年には692本の応募作品の中から入選した19作品をスクリーンで
上映します。入選監督も上映後にトークを行います。
また、観客の皆さんによる「京都観客賞」も決定します。
是非投票をお願いします！

※入選監督の年齢、職業(学校名)は応募時のものです。

B PFF Award 2024

🕒 11. 9 📺 18:00~

『END of DINOSAURS』🔴 監督: Kako Annika Esashi
カラー/28分 審査員特別賞 (26歳/国連職員)



恐竜の町で雄叫びを!

新幹線と恐竜の町・福井市に住む帰国子女のエイコは、和順な日本人に囲まれた平凡すぎる日常を漫然と生きる。アメリカ生まれの監督が、軽快で多国籍な語り口で、自身のアイデンティティーの探究をエネルギーに描く。

『サンライズ』🔴 監督: 八代夏歌
カラー/24分 (18歳/愛知県立旭丘高等学校 美術科)



高校生監督による、瑞々しい独り言

映画への夢を諦められないヤシロ。“落としたところ”を見つけようとする日々、レンズを通せば生き生きとした世界が広がる。彼女は、諦めることを諦めた。POV撮影多用で自身の内面をストレートにぶちまけた、エネルギー溢れる決意表明。

『チューリップちゃん』🔴 監督: 渡辺咲樹
カラー/18分 (22歳/東北芸術工科大学 デザイン工学部)



チューリップちゃん! レッツゴー!

ちょっと変わった小学5年生・チューリップちゃんの夢は、“孫に還暦を祝ってもらうこと”。アニメーションならではの珍妙でオビートな演出スタイルと卓越したワードセンスで、唯一無二の世界に引き込まれる。

C PFF Award 2024

🕒 11.10 📺 11:00~

『ちあきの変拍子』カラー/31分 🔴 監督: 白岩周也、福留莉玖
映画ファン賞(びあニスト賞) (18歳、17歳/米子工業高等専門学校 放送部)



イマジナリーフレンドと決別したい!

自分を抑えて生きる女子高生・千秋と、彼女が創り出した春貴という人格。必死の我慢を邪魔されることに我慢ができなくなった彼女は、ついに“彼”を消し去ろうとするが…。カタルシスと喪失感と希望が背中合わせのスリリングな青春の叫び。

『I AM NOT INVISIBLE』🔴 監督: 川島佑喜
カラー/24分 グランプリ (21歳/武蔵野美術大学 造形構想学部 映像学科)



“名もなき街”での自分探しの記録

“心が疲れた”監督が自身のルーツに迫るセルフドキュメンタリーは、フィリピンのスラム街でたくましく生きる人々の姿を捉える。同国でサバイブしてきた祖母の現実的な言葉に心が揺れながら、魂の“在り方”を力強く探究する。

『わたしのゆくえ』🔴 監督: 藤居恭平
カラー/23分 (32歳/会社員)



恋しい、寂しい、また恋しい

勤務先の探偵事務所、ある男の調査映像を編集する孤独な女性・難波。次の休日、彼女の足は男の住むマンションへ向かっていた。繰り広げられる人間ドラマはサスペンスラブコメカ。圧倒的な不穏さをたええる一本。

D PFF Award 2024

🕒 11.17 📺 17:00~

『Into a Landscape』🔴 監督: 山中千尋
カラー/2分 (30歳/東京藝術大学大学院 映像研究科 アニメーション専攻)



色彩と形態のせめぎ合い

水彩画タッチの魅力が凝縮された2分間の短編アニメーション。紙の上に創造された自然の美しさと圧倒的な力強さを畏敬の念を持って描き、抽象と具象を行き来していく。その麗しさが全編にわたって炸裂する曼荼羅。

『分離の予感』🔴 監督: 何英傑
カラー/64分 (25歳/武蔵野美術大学 造形構想学部 映像学科)



芝居の中で芝居をする…という芝居

映画のオーディションで偶然再会した男女は、台本に従って演技を始める。虚構と現実、過去と未来が少しずつ混ざり合う様子を、コントラストの効いた画面構成と漂うカメラ演出で描き、洗練された作家性が溢れ出る。

『あなたの代わりにあなた展』🔴 監督: 山田遊
カラー/18分 観客賞 (28歳/劇団主宰)



珍妙な会話が織りなす恋物語

マッチングアプリの待ち合わせをすっぽかされた男と、美術館デートをすっぽかされた女。2人は仕方なく“代わりに”のデートを始めるが…。ミニマルな登場人物の遊戯のような会話劇で展開される、独特すぎる映画体験。

A PFF Award 2024

🕒 11.10 📺 13:30~

『正しい家族の付き合い方』🔴 監督: ひがし沙優
カラー/17分 (14歳/中学生)



恐るべき中学生の自我大爆発!

酒浸りの父親と暮らす夢見る少女。彼女の思い描く理想の親子像はどこか歪。目の前の現実になす術も力もない少女は、それでも上を向く、そして外を向く…。最年少14歳の監督が描く、振り切ったテンションの一作。

『これらが全てFantasyだったあの頃。』🔴 監督: 林 真子
カラー/72分 審査員特別賞 (27歳/会社員)



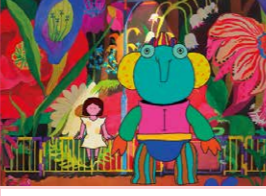
“創作”という狂気と凶器と狂喜

役者の夢を追うえみ。引っ越し中に見つけた脚本によって記憶の扉が開かれ、次第に虚構と現実の境界が曖昧になっていく。何層にも重なる物語は複雑に交差しながらも、夢見る主人公たちを応援するかのよう爽やかに広がっていく。

F PFF Award 2024

🕒 11.16 📺 16:30~

『アイスリンク』🔴 監督: 王 紫音
カラー/10分 (23歳/清華大学美術学院)



摩訶不思議な中国式アニメーション

2人の若者がアイスリンクのオープンをお祝いしながら待っている。とめどなく溢れる不思議でオビートな会話に、カラフルで奇天烈な動物や昆虫が乱れ飛び、とても優しい白日夢。目にも眩しい大人の絵本。

『さよならピーチ』カラー/124分 🔴 監督: 遠藤愛海
エンタテインメント賞(ホリプロ賞) (22歳/京都芸術大学 芸術学部 映画学科)



映画への愛が溢れる時…

ラストシーンがうまく演じられず悩む、主人公も。演技の参考に、サイレント映画を上映すると、劇中の女優が突然スクリーンから飛び出してくる…。つくり手の瑞々しい悩みや葛藤を、自主映画の世界線で描いた青春賛歌。

G PFF Award 2024

🕒 11.17 📺 11:00~

『鎖』🔴 監督: 杜 詩琪
カラー/21分 (25歳/武蔵野美術大学大学院 映像・写真コース)



ミソジニー社会で乱舞してみた

男尊女卑が色濃く残る中国の地方都市に、日本から里帰りした監督自身が、同国の結婚、出産、同性愛の在り方を探る。慣習という“鎖”をパフォーマンスアートとアニメーションを駆使して描いた、切実で渾身の映像表現。

『さようならイカロス』🔴 監督: 田辺洸成
カラー/107分 (20歳/青山学院大学 総合文化政策学部)



神も仏も知ったこっちゃない世界へ

無気力な青年ケンが、同じく無気力な女性との出会いを通して、同性愛、性虐待、貧困、暴力、死という薄皮1枚向こうのリアルを垣間見る。監督の心の叫びが全編にこだまし、目を背けたくなる現実を否応なしに叩きつける問題作。

H PFF Award 2024

🕒 11.17 📺 14:15~

『松坂さん』🔴 監督: 畔柳太陽
カラー/39分 審査員特別賞 (25歳/フリーター)



物語の中の女性への想い

執筆中の脚本にぴったりな“グラウンドでトンボをかける女性”と出会ってしまった青年・木嶋。淡い思いは台本を抜け出して現実と呼応を始める。見事なキャスティングと演出で獲得した“実在感”が、観客の心を揺さぶる。

『秋の風吹く』🔴 監督: 稲川悠司
カラー/63分 準グランプリ (26歳/フリーター)



金なきに因する7本の映画

一貫したやるせなさに彩られた不思議な7本の短編集。アニメーション、実写映像、人形劇、活弁など、ありとあらゆる実験的な表現手法で繰り出される、独特すぎる世界観が、観客の脳味噌をぐにやりと刺激する。

第28回 PFFスカラシップ作品

『道行き』

PFFアワード受賞者を対象とした「企画コンペ」で選ばれた1作品を、PFFがトータルプロデュースして長編映画を製作する「PFFスカラシップ」プロジェクト最新作の関西初上映です。
監督は「PFFアワード2019」にて『おぼけ』でグランプリを受賞した中尾広道さん。奈良県御所市を舞台に繰る物語は、モノクロームの世界に唯一無二の時間が流れています。

『道行き』 2024年/白黒/77分 🔴 中尾広道 (監督) 🕒 11.16 📺 14:00~



監督・脚本・編集: 中尾広道
出演: 渡辺大知、桐竹勘十郎、細馬宏通、田村壘希、大塚まさじ

過ぎゆく歳月と旅の物語

奈良の古民家に移り住んだ駒井は、所有者だった梅本の話に耳を傾ける。時間、町、家の歴史…。ひとり家を造りながら、駒井の心は旅をするようにゆっくりと動いていく。

©2024 ぴあ、ホリプロ、日活、電通、博報堂Dメディアパートナーズ、一般社団法人PFF

90年代傑作自主映画

8ミリ→16ミリ→35ミリ、と、順を追ってプロに近付いていくフィルムサイズ。90年代の学生映画から、16ミリフィルムの傑作を体験してください。

伝説となったグランプリ作品 テレビ放映もされた人気作品と傑作中編のデジタル化ついに実現!

🔴 古蔵智之 (監督) 🕒 11.13 ㊟ 18:45~



『灼熱のドッジボール』PFFアワード1992グランプリ
カラー/15分
監督: 古蔵智之/出演: 清水優雅子、松島 創、仲野麻貴

夏の日の放課後。あの娘は今夜、東京に発つ。列車まであと40分…。見事な編集とカメラワークで綴る、高校生達の淡く切ない別れ。



『走るぜ』 PFF1994招待/カラー/29分
監督: 古蔵智之/出演: 波多雅子、直井徳弘

カバンを盗まれた女子高生が仲間と犯人を追いかける。山へ、海へとひた走り、いつしか立場も忘れ、ただ走ることに高揚していく。